

## 全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられました！

住宅火災による死者が急増していたことを背景として、平成 16 年 6 月に消防法の一部が改正され、平成 18 年 6 月 1 日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられることとなりました。既存住宅については、各都市の条例により一定の猶予期間を設けておりましたが、平成 23 年 6 月 1 日からは全国全ての市町村で義務化が始まっています。

全国の住宅火災による死者は毎年 1,000 名を超えており、そのうち約 6 割が逃げ遅れによるものです。また、年齢別では 65 歳以上の方が約 6 割を占めています。住宅用火災警報器は火災の早期発見に大変有効であり、逃げ遅れによる死者を防ぐ切り札とも言えるものです。設置されていない方は早急に設置していただきますようお願いいたします。

### 1 住宅用火災警報器って何？

火災による煙又は熱を感知して警報音を鳴らし、居住者に火災を早期に知らせる機器です。

これらの機器は、次のように分類されます。

#### 感知方式

- 煙感知式：煙を感知して警報音を鳴らすタイプ
- 熱感知式：熱を感知して警報音を鳴らすタイプ

#### 鳴動方式

- 単体鳴動型：感知した感知器だけが鳴動するタイプ
- 連動型：連動して住居内の全ての感知器が鳴動するタイプ

#### 電源方式

- AC 電源タイプ：家庭用コンセントから電源をとるタイプ（配線工事が必要です。）
- 電池式：簡単に取り付けられるよう配線がないタイプ（市販されている多くはこのタイプです。）

## 設置方法

- 壁設置：壁の上部にピンやネジで取り付けます。
- 天井設置：天井にピンやネジで取り付けます。

※市販されている多くは、壁にも天井にも取り付けられます。

## その他

- 住宅用火災警報器に接続し、光や振動で火災を知らせる付属製品もあります。

※鳴動方式、電源方式及び設置方法については、いずれの方法、方式でも構いません。



天井設置



壁掛け設置

## 2 設置義務化の時期

新築の住宅については平成 18 年 6 月 1 日から義務化されています。すでに建てられている住宅（既存の住宅）については、5 年間の猶予を設け平成 23 年 6 月 1 日から義務化されております。

設置されていない方は、早急に設置していただきますようお願いいたします。

### 3 点検・維持

#### 点検

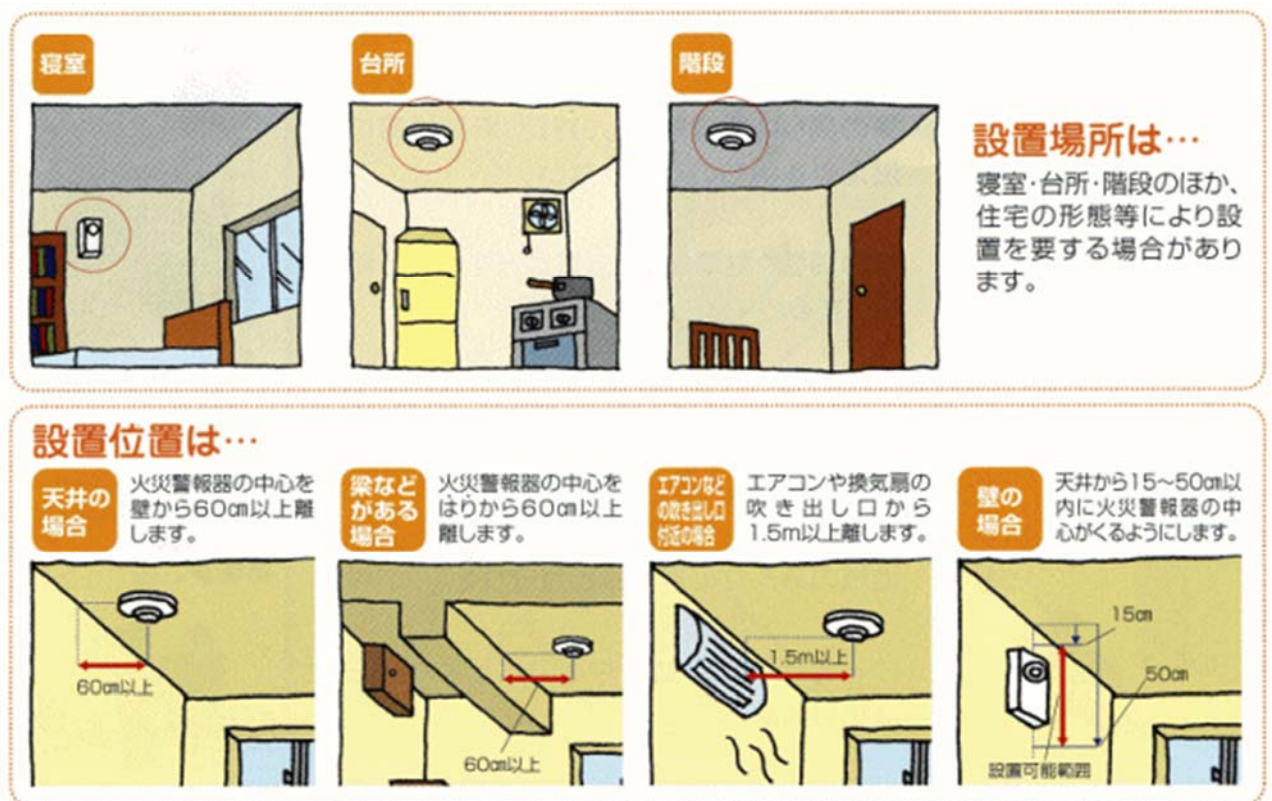
消防法で定める点検義務はありませんが、年に2回はご自身でテストボタンまたはひもを引いて、正常に機能するか確認しましょう。

自動試験機能がついている機器で、異常ランプが性能の異常を知らせている場合は、機器を交換しましょう。

#### 維持管理

ホコリが付くと火災を感知しにくくなるため、汚れが目立ったら乾いた布でふき取ってください。その他、メンテナンスの方法や、故障が考えられるような場合は取扱説明書を御確認ください。

### 4 設置場所（位置）と機種



The diagram illustrates the recommended installation locations for fire alarm detectors in three areas: a bedroom (寝室), a kitchen (台所), and stairs (階段). Each area shows a detector mounted on the ceiling. To the right of these illustrations, the text states: **設置場所は…** 寝室・台所・階段のほか、住宅の形態等により設置を要する場合があります。 (Installation locations are... besides bedrooms, kitchens, and stairs, installation may be required depending on the residential structure, etc.).

Below this, the diagram details the specific installation positions (設置位置は…) with four scenarios:

- 天井の場合 (Ceiling case):** 火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。 (Center of the fire alarm detector is 60cm or more from the wall.)
- 梁などがある場合 (When there are beams, etc.):** 火災警報器の中心をはりから60cm以上離します。 (Center of the fire alarm detector is 60cm or more from the beam.)
- エアコンなどの吹き出し口付近の場合 (Near air conditioning outlets, etc.):** エアコンや換気扇の吹き出し口から1.5m以上離します。 (1.5m or more from the air conditioning or fan outlet.)
- 壁の場合 (Wall case):** 天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるようにします。 (Center of the fire alarm detector is 15~50cm from the ceiling.)

- ・ 設置場所は全ての**寝室**
- ・ 2階に寝室がある場合、2階の**階段**

その他、3階建ての場合や1つの階に居室が5つ以上ある場合も設置が必要になる場合があります。

消防法令により、寝室や階段に設置が義務付けられているのは『**煙式**』の警報器です。

徳島県では台所には設置義務はありませんが、熱式の警報器をつけておくことをお勧めします。

## 5 購入できる場所・値段

購入できる場所・・・徳島県消防設備協会加盟店、大型スーパーやホームセンター、大型家電量販店などで購入できます。

※**機器の取り扱い・価格については、各販売店にお問い合わせください**



購入の目安として検定マーク(総務省令による技術上の基準に合格した証)が付いているもの。



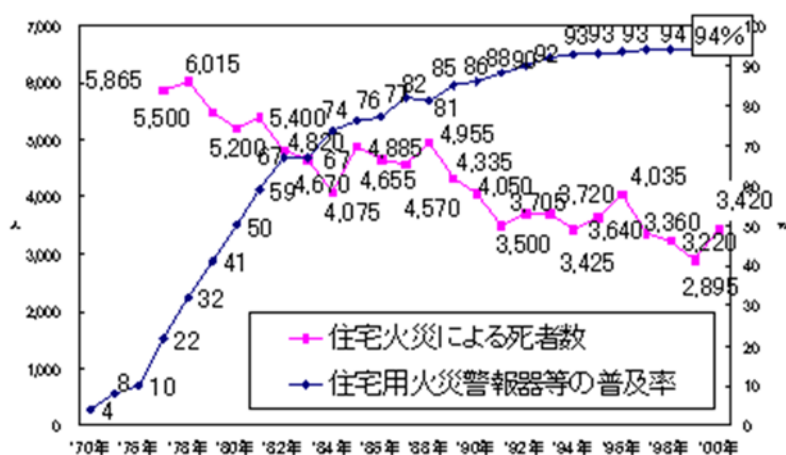
または、NSマーク(日本消防検定協会の鑑定合格証)が付いているものを選びましょう。

なお、NSマークが付いているものは平成31年3月31日まで販売が認められています。

## 6 設置の効果

総務省消防庁によると、平成 19 年から平成 21 年までの 3 年間に於ける、失火を原因とした住宅火災 44,085 件について分析した結果、**死者数、焼損床面積、損害額**について、住宅用火災警報器が設置されていた場合は、設置されていない場合に比べ、**損害状況が概ね半減**することが分かっています。

また、70 年代から義務化が始まっている米国でも次のとおり大きな効果が現れています。



米国では、1970 年代後半から、州法等で個人の住宅に住宅用火災警報器の設置の義務づけが行われ、普及が進み、死者の大幅低減が図られました。英国においても設置の義務づけが行われ、同様の成果が見られています。

## 7 広報用映像・関係法令等

住宅用火災警報器の広報用映像・関係法令は、消防庁のホームページで公開しています。

映像 (ダウンロード可能)

[http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou\\_contents/materials/movie/mov15.html](http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/materials/movie/mov15.html)

関係法令 (住宅防火対策)

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4\\_0.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4_0.html)